

CBN & ダイヤモンド先進加工研究専門委員会

設置年：平成24年～，会員数：166人，法人会員：15社，委員長：市田良夫

1. はじめに

当専門委員会では、3月17日埼玉大学東京ステーションカレッジにて、「ダイヤモンド&CBN 工具の最新開発動向と先端加工への応用」をメインテーマとした第7回研究講演会を開催しました。この分野の最前線でご活躍中のエレメントシックス株式会社 Ms. Nastja Macerol，サンドビックハイペリオン瓜生裕二氏，トーメイダイヤ株式会社 山中博氏，株式会社ノリタケカンパニーリミテド 奥村成史氏による、ダイヤモンド・CBN 工具新製品開発の取組み、ダイヤモンドの表面性状とその応用、最近のビトリファイドCBN ホイールと使用技術についての講演が行われました。講演会には61名もの多くの方々にご参加頂き、盛況のうちに終了しました。

2. プログラム

13:00～13:05 開会 専門委員会委員長 市田良夫

13:05～17:00 研究講演会

(1)「エレメントシックスのダイヤモンド・CBN 新製品開発の取組み」

エレメントシックス株式会社 Ms. Nastja Macerol

(2)「最近の超砥粒製品(ダイヤモンド・CBN 砥粒)に対するニーズと新製品開発の取組み」

サンドビックハイペリオン 瓜生 裕二 氏

(3)「ダイヤモンドの表面性状とその応用」

トーメイダイヤ株式会社 新製品事業部 山中 博 氏

(4)「最近のビトリファイドCBN ホイールと使用技術」

株式会社 ノリタケカンパニーリミテド 研削ソフト技術部
奥村 成史 氏

17:00～17:10 閉会 専門委員会副委員長 呉 勇波

3. 研究会報告

研究講演会では、まず Ms. Nastja Macerol よりダイヤモンド・CBN 砥粒の開発動向とそれらの砥粒を用いた研削ホイールの性能評価について御講演頂きました。次いで、瓜生裕二氏より超砥粒に対するニーズの変遷やそれに伴う分級技術、コーティング技術の対応、工具開発の取組みについて御講演頂きました。また、山中博氏よりサブミクロンダ

イヤモンドの表面性状が焼成工程における分散挙動に与える影響などについて学術的な御講演を頂きました。さらに、奥村成史氏より近年のビトリファイド CBN ホイールの切味向上や長寿命化への取組み、新しいドレッシング方法による研削性能の向上について御講演頂きました。

いずれの講演も大変興味深い内容で、参加者一同真剣に耳を傾け非常に有意義な知見を得ることができた一日となりました。

4. おわりに

講演会後の技術交流会にも御講演頂いた講師の方々を含め24名の皆様にご参加頂き、和やかな雰囲気の中、有意義な意見交換並びに技術交流が行われました。次回は、8月21日に埼玉大学東京ステーションカレッジで開催いたします。



図1 研究講演会の一風景



図2 CBN&ダイヤモンド先進加工研究専門委員会第7回研究講演会